



こまをこぼる

こまつなNEWS

VOL.7
2017年10月31日
ハロウィン発行号

発行：責任編集
狛江市岩戸北3-18-8-701
狛江で分かりやすい
政治を伝える会



さあ、スタート

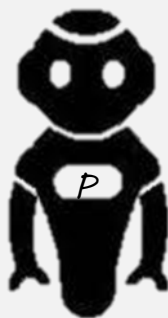
年末に向けて

写真は、地区対抗45人リレー
昨年の開催時。

TOPICS 市内中学校視察報告

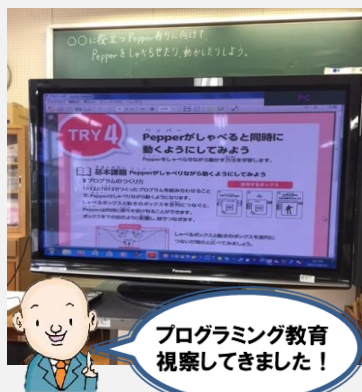
ヒト型ロボット×プログラミング

某民間通信会社はCSR（企業の社会的責任）の一環として全国17自治体の公立小中学校に「あの有名な」ヒト型ロボットを無償提供しています。選定自治体の一つ、狛江市でも市内の小中学校計8校に配置され、実際の授業で活用されています。このプログラミング教育の必修化などが含まれる新しい学習指導要領の実施は、小学校では2020年、中学校では2021年から行われる予定です。



今回、狛江市立四中の技術・家庭科で行われている「ヒト型ロボットを活用した授業」を視察しました。家庭科の被服室を教室として、生徒さんたちが約5名ずつ6班に分かれ、且つ先生分と合わせて、計7台のヒト型ロボットとノートパソコンが配置されています。

授業の最初は、生徒さんのプログラミングを通して、手を動かす、言葉をしゃべらせる等、ある程度慣れてもらおうということから始まりましたが、最後には、各班のヒト型ロボットが動きに合わせて自己紹介するという段階まで進みました。



プログラミング教育視察してきました！



日本のプログラミング教育は世界標準（アメリカやイギリス等）より遅れているので日本でも早々に導入すべきだという話を聞きます。そうした声は国家戦略的にはその通りなのですが、新カリキュラムが導入されることが与える影響や環境整備も含めて、総合的に見ていく必要があります。

今回は（ヒト型ロボットは無償提供ではありますが）ICT教育全体での投資効果、先生方の労務的な負担、時間外勤務の状況、部活との兼ね合い、指導される人材育成の観点、指導研修の仕組み、年度全体で6コマ繰り入れられることの全体授業への影響、生徒さんたちの反応等はどうか？機器の使用状況がどうなっているのか、そうした様々な角度の留意点を意識して授業視察に臨みました。

狛江市の場合、十分とは言えないかもしれませんがICT教育充実のための予算措置がとられていますので、地方議員としては多角的な検証が求められるわけです。

更にはジャストシステム社実施の「小学生のプログラミング学習調査（2016年7月）」によりますと、小学校1年から4年までの10人に1人のお子さんが、プログラミング教室に通っているそうです。こうしたニーズを鑑みますと、今後は学校以外のプログラミング教育環境構築のために地域NPO等の立ち上げ支援をしていく必要もあると考えます。そうした意味では、お隣り国領アクロスで毎月行われているプログラミング道場“CoderDojo調布”の取り組み等はまさにモデルケースになると思います。

教育改革は、まさに国家による未来への投資。だからこそ、子を持つ親ばかりでなく、すべての日本人にとっての当事者意識を持つ必要があります。そうした改革の現場をウォッチしていくことも、自治体議員の重要な役割だと、今回の視察で改めて認識いたしました。

HEADLINE NEWS

11月3日(祝)。今年も世代を超えて絆が繋がります。

オモテ面の写真は、昨年開催された「地区対抗45人リレー」の様様です。

関東地方で文化の日は「晴れの特異日」と言われているそうですが、昨年とも抜けるような青空に恵まれました。

このイベントは、防犯・防災や、子ども・障がい者・高齢者の見守りなど、地域住民の結びつきが強く求められる中で、地域の絆を強め、広く世代間の交流を育むため、小さなお子さんから高齢者まで幅広い年齢層が町会等の地区単位で参加されることに意味があります。

まだメンバーを募集しているチームもあるかもしれません。

ご家族で参加可能なので、町会へ問い合わせしてみてくださいは如何でしょうか。



【広告】



価格：1600円＋税
インターネットでご注文下さい

愛妻納税墓参り
家族から見た三宅久之の回想録
イラスト・プレス社刊
三宅 眞

狛江市議会議員 三宅まこと

- 1964年 東京都生まれ、立教大学経済学部卒業。
- 1987年 広告代理店・東急エージェンシーに27年間勤務。12年5月、120名社員プロジェクトをリーダーとして運営中に、妻が病気を発症し妻の要介護認定に伴い、介護休職後に退社。同時に自身が社会保障の重要性に目覚め、介護初任者研修、介護事務。実務者研修修了、同行介護従業者資格取得。
- 2014年
- 2015年 狛江市議会議員選挙にて、無所属新人ながら1871票の得票により全体の2位で当選。

公式HP <http://三宅まこと.com>

「こまつなNEWS」
如何でしたでしょうか？
下記記載の公式ホームページ、SNSやメール等でどしどしとご意見をお寄せください。

miyake_makoto64

三宅まこと

info@miyakemakoto.jp

